

【要旨】

保安語は自動詞主語の格標示に分裂性を示し、その状況は積石山方言と同仁方言とで異なる。ただし、分裂はある特定の動詞に限られ、積石山方言は主格と対格の二分割型と言えれば二分割型であり、同仁方言は主格と対格と与位格の三分割型であろう。主語を対格で標示するのは「生まれる」「どうなる」を表す自動詞であるが、この対格標示は「産む」「何をする」を表す同形他動詞の主語との意味役割の違いを明確に示すためと考えられる。並行した現象が他の河湟語にも観察されることから、河湟語の中でかなり古くから使われていたと見てよい。他方、主語が与位格で標示される「病気になる」などを表す自動詞には外的要因による健康の悪化を表すという意味特徴があるが、同仁方言にだけ認められるように最近使われるようになったと考えられる。身体のどこが痛いかを具体的に言い表す際に保安語が用いる与位格構文、さらには近隣で話されている五屯語の格標示との関係を考えていく必要がある。

0. はじめに

保安語は中国で話されているモンゴル系の言語であり、青海省黄南藏族自治州同仁県で話されている同仁方言(話者：土族)と甘肅省臨夏回族自治州積石山保安族東郷族撒拉族自治县で話されている積石山方言(話者：保安族 20074 人)に区分される。同仁方言には、さらに保安下庄、尕酒日、年都乎などの下位方言があり、積石山方言には大墩と甘河灘といった下位方言がある。積石山方言の話者の祖先は、清朝同治年間(1860年代)まで同仁県で暮らしていた。

Todaeva(1964)が指摘したように、保安語では自動詞主語が主格以外の格で標示されることがある。その状況は(下位)方言間で様ではないが、保安語の調査が進んだ今、かつてに比べれば保安語における自動詞主語の格標示が分かってきた。

本発表の目的は、保安語における自動詞主語の格標示に焦点をあて、その状況を(下位)方言ごとに整理すること、そして今の姿になった理由について説明を試みることにある。

1. 先行研究

保安語における自動詞主語の格標示について最初に論じたのは、1950年代に調査をおこなった Todaeva(1964)である。その Todaeva(1964:30)には、保安下庄の *daar-*「凍える」、*wete-*「病気になる」、*ider-*「疲れる」といった動詞の主語が与位格で標示されるとして、(1)のような例が示されている。

(1) a. *tšade* (~*tše*) *wetedžise*, *be mam okeje*.

あなた[与位格]([主格]) 病気なら、私 薬 あげよう。「あなたが病気なら、私が薬をあげよう。」

b. *nogede* (~*noge*) *iderdži terale hdžedo*.

彼[与位格]([主格]) 疲れて 寝に 行った。「彼は疲れて、寝に行った。」

c. *mene aude daardžo*.

私の息子[与位格] 凍えている。「私の息子が凍えている。」

この指摘に従い、佐藤(1995)は同仁方言の年都乎を記した陳等編(1978a)を資料に、同仁方言における自動詞主語の格標示を論じている。佐藤(1995)をまとめると、(2)のようになる。

(2) a. 陳等編(1978a)に従うかぎり、主語が主格以外で標示される自動詞は、「病む／痛む」と「生まれる」を表す2語となる。1人称単数と2人称単数は他動詞の被動者を標示する対・与位格、3人称は与位格で標示される。主格との交替は認められない。

b. Todaeva(1964)が報告している「凍える」「疲れる」を含めても、主語が主格以外で標示される自動詞は「病む／痛む」「凍える」「疲れる」「生まれる」の4語である。「病む／痛む」「凍える」「疲れる」の3語には、健康状態の悪化という共通した意味特徴が認められる。

c. 大河家方言【=積石山方言】に同様の現象は認められない。

しかし、保安語の調査研究が進んだ今、「生まれる」を表す自動詞を「病気になる」「凍える」「疲れる」を表す自動詞と同じグループには扱えないこと、同仁方言の下位方言間において自動詞主語の格標示の現れ方は様ではないこと、積石山方言にも「生まれる」を表す自動詞については同仁方言と同様の現象が認められることなどが明らかになっている。「生まれる」を表す自動詞の主語である「生まれる人」を表す格については、角道(2019)がモンゴル系言語全体の中で論じ、積石山方言の状況は佐藤(2019)が論じている。

2. 分析の枠組み

同仁方言の尢酒日を、ここで取りあげてみる。自動詞として *hdzi-*「行く」、*ol-*「生まれる」、*itə-*「病気になる」を例に、それらの主語が1人称単数と3人称単数の場合、どの格で標示されるのかを(3)から(5)で見しておく。保安語の格標示は(下位)方言を問わず、単数の場合、1人称と2人称は属格≠対格=与位格、3人称と人間名詞は属格=対格≠与位格の関係にある。

- (3) 「行く」
bə / ndzaŋ toŋrəndə hdzisaŋ. 【動作主】
 私[主格] / 彼[主格] 同仁に 行った 「私は／彼は同仁に行った。」
- (4) 「生まれる」
nədə / ndzaŋnə toŋrəndə olsaŋ. 【対象】
 私[対・与位格] / 彼[対格] 同仁で 生まれた 「私は／彼は同仁で生まれた。」
- (5) 「病気になる」
hgudə nədə / ndzaŋdə itətə. 【経験者】
 昨日 私[対・与位格] / 彼[与位格] 病気だった 「昨日私は／彼は病気だった。」

(3)では、1人称と3人称の主語は主格で標示されている。他方、(4)と(5)において1人称の主語は対・与位格で標示されているが、3人称が示すように(4)は対格、(5)は与位格と見るのが適切である。つまり、同仁方言の尢酒日では自動詞主語を標示する格には、少なくとも三つのタイプがあることになる。こうした状況は同仁方言の他の下位方言にも並行した現象が認められるが一様ではなく、積石山方言においては(5)のような例は認められない。

以下、まず保安語において自動詞の主語を対格あるいは与位格で標示する自動詞として、どのような動詞があるのかを整理し、(下位)方言間の異同を明らかにする。資料として、同仁方言の年都乎は陳等編(1987a, 1987b)、保安下庄は Todaeva(1964)、同仁方言の尢酒日と積石山方言(の大墩)は筆者の調査を用いる。その際、主語は1人称、2人称、3人称と人間名詞の単数に限定する。そして、次に整理した結果を、保安語と歴史的に密接な関係にある河湟語(互助土族語、民和土族語、康家語、東郷語、東部裕固語)との関係にも言及し、現在の格標示を持つことになった理由について説明を試みる。

3. 主格以外で標示される自動詞主語

3.1 対格で標示される自動詞主語

保安語において自動詞主語が対格で標示される動詞として、すでに見た「生まれる」を表す自動詞がある。資料の制約から同仁方言の状況に不明な点があるが、現状を整理すると、表1のようになる。

表1

	同仁方言						積石山方言	
	尢酒日		年都乎		保安下庄		1, 2	3, 人間
	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間		
「生まれる」	対	対	対・与位*	?	?	?	対	対

*対格か与位格かは3人称、あるいは人間名詞の例があれば明確になる。

- (6) 「生まれる」
- a. 同仁方言尢酒日
nədə / ndzaŋnə toŋrəndə olsaŋ. (=4)
 私[対格] / 彼[対格] 同仁で 生まれた 「私は／彼は同仁で生まれた。」
 【同仁方言保安下庄：筆者の調査では尢酒日と同様。*nədə / ndzaŋnə toŋrəndə olsaŋ.*】
- b. 同仁方言年都乎
tɕinda kətci ɔlwa? (陳等編 1987b:8)
 あなた[対・与位格] いつ 生まれた 「あなたはいつ生まれましたか。」
- c. 積石山方言
nədə dadundə olsaŋni.
 私[対格] 大墩で 生まれた 「私は大墩で生まれたのです。」
tɕinə agunə hələ olsaŋni ?
 あなたの 娘[対格] どこで 生まれた 「あなたの娘はどこで生まれたのですか。」

「生まれる」を表す自動詞の特徴として、同形他動詞の存在を指摘することができる。たとえば、同仁方言の尢酒日では *bə agu gə olsaŋ.* 「私[*bə* 主格]は娘を産んだ」である。保安語は、自己性(egophoricity)を文

法範疇に持つ言語であり、動詞語尾を通じて「自己性」と「非自己性」を区別する。「生まれる」を表す自動詞は 3.2 節で述べる与位格で標示される自動詞とは異なり、自己性が現れる場合、その標識は「自己性」のほうである。積石山方言では、佐藤(2019)で述べたように「生まれる」を表す自動詞の主語に主格の *bu* を用い、*bu dadunda olsaqni*. と言う話者もいるが、この表現は新しい言い方である。

そのほかにも主語が対格で標示される自動詞として、「どうなる」という人の様態を問う疑問動詞がある。表 2 に状況を示しておく。

	同仁方言						積石山方言	
	尢酒日		年都乎		保安下庄		1, 2	3, 人間
	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間		
「どうなる」	対	対	対・与位*	?	?	?	対	対

*対格か与位格かは 3 人称、あるいは人間名詞の例があれば明確になる。

(7) 「どうなる」

a. 同仁方言尢酒日

tɕodə / tɕinə agunə jaŋgo?

「あなた[対格] / あなたの娘[対格]はどんな具合ですか。」

b. 同仁方言年都乎

tɕinda jaŋgəto? toroŋ toordzi wo u? (陳等編 1987b:25)

「あなた[対・与位格]はどんな具合ですか。頭がふらふらしていますか。」

c. 積石山方言

tɕodə / tɕinə agunə jaŋgo?

「あなた[対格] / あなたの娘[対格]はどんな具合ですか。」

この疑問動詞には同形式で「何をする」を表す他動詞がある。たとえば、同仁方言の尢酒日と積石山方言では、*X tɕodə jaŋgo?* 「X はあなた[tɕodə 対格]に何をした」、*tɕi jaŋgi?* 「あなた[tɕi 主格]は何をする」。

3.2 与位格で標示される自動詞主語

保安語において自動詞主語が与位格で標示されるのは同仁方言だけであるが、その状況は下位方言間で様ではない。いずれかの下位方言で主語に与位格を取る自動詞をあげるとすれば、それは先に取りあげた「病気になる」「疲れる」「凍える」といった外的要因による健康の悪化を表す非制御動詞となる(外的要因については、鄭 2005 も参照)。同仁方言と積石山方言の状況を整理すると、表 3 のようになる。

	同仁方言						積石山方言
	尢酒日		年都乎		保安下庄		
	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間	1, 2	3, 人間	
「病気になる」	与位	与位	与位	与位	与位 / 主	与位 / 主	主
「疲れる」	主	主	*	?	与位 / 主	与位 / 主	主
「凍える」	主	主	**	?	?	与位 / 主	主

**guala* 「私たち 2 人」: 主格(陳等編 1987b:85-86)。 **1 人称: 主格(Fried 2010:89)

(8) 「病気になる」

a. 同仁方言尢酒日

hgudə nadə / ndzaŋdə itətɕ. (=5a)

昨日 私[与位格] / 彼[与位格] 病気だった 「昨日私は / 彼は病気だった。」

b. 同仁方言年都乎

mənda ebdərtɕ su bæ od jadawa.

私[与位格] 病気だったので 私は 行けなかった 「私は病気だったので、行けなかった。」

odzaŋda ebdəsəŋda mənə sem hɕzipəŋgə ɕo. (陳等編 1987a:105)

彼女[与位格] 病気だったので 私の 心 幸せ ではない「彼女が病気だったので、私は不安だった。」

c. 同仁方言保安下庄

tšade (~tše) wetedžise, be mam okeje. (=1a)

aazede wetejo. (Todaeva1964:195)

姉[与位格] 病気である 「姉が病気です」

【布和 陳(1981:71) : *oroŋdə vetədɕo.* 「私は病気です。」】

- d. 積石山方言
bu / dʒaŋ gudə etətɕ.
私[主格] / 彼[主格] 昨日 病気だった 「私は／彼は昨日病気だった。」
- (9) 「疲れる」
- a. 同仁方言 尕酒日
bə idərtɕ.
私[主格] 疲れた 「私は疲れた」
- b. 同仁方言 保安下庄
naade iderdʒe. / **be** hɣude iderdʒe. (Todaeva 1964:210, 142)
私[与位格] 疲れた / 私[主格] 昨日 疲れた 「私は疲れた。 / 私は昨日疲れた。」
nogede (~**noge**) iderdʒi terale hdʒedo. (=1b)
【布和 陳(1981:71) : **nadə** idardʒo. 「私は疲れています。」】
- c. 積石山方言
bu idartɕ.
私[主格] 疲れた 「私は疲れた」
- (10) 「凍える」
- a. 同仁方言 尕酒日
bə dartɕ.
私[主格] 凍えた 「私は凍えた」
- b. 同仁方言 保安下庄
mene aude daardʒo. (=1c)
nude hdʒese **ndʒang** daarem. (Todaeva 1964:113)
今日 行けば 彼[主格] 凍える 「今日行けば、彼は凍える」
- c. 積石山方言
bu dartɕ.
私[主格] 凍えた 「私は凍えた」

表2に従うと、同仁方言全体で自動詞主語の格標示が与位格になるのは「病気になる」を表す自動詞だけとなる。「疲れる」「凍える」を表す自動詞の主語については、保安下庄にだけ与位格が認められる。ただし、Todaeva(1964)が記す主格との交替(=1))が何を表しているのかは、はっきりとしない。他方で、これらの動詞は「生まれる」「どうなる」を表す自動詞とは異なり、自己性には「非自己性」の標識が現れる。「非自己性」の標識は主語が1人称の場合、話し手(=主語)が制御できない「のどが渇く」「空腹になる」「咳をする」など身体の悪化を表すさまざまな自動詞にも現れるが、これらの動詞の主語は主格であり、与位格が現れることはない。これらの動詞が表す様態は、身体の内的要因に関わるからであろうか。

3.3 まとめ

ここまでをまとめると、表4のようになる。

表4

	同仁方言			積石山方言
	尕酒日	年都乎	保安下庄	
	三分割	三分割?	三分割?	二分格
a-1. 「生まれる」	対	対・与位【対?】	対【筆者】	対
-2. 「どうなる」	対	対・与位【対?】	?	対
b-1. 「病気になる」	与位	与位	与位 / 主	主
-2. 「疲れる」	主	?	与位 / 主	主
-3. 「凍える」	主	?	与位 / 主	主
c. その他	主	主	主	主

- a. ・対応する他動詞は同形。
・自己性は「自己性」標識。
- b. ・意味特徴：外的要因における健康の悪化。
・自己性は「非自己性」標識。

4. 保安語において自動詞主語が対格あるいは与位格で標示される理由

4.1 河湟語での自動詞主語

保安語において自動詞主語が対格あるいは与位格で標示される理由を考える際、保安語と歴史的に密接な関係にある他の河湟語(互助土族語、民和土族語、康家語、東郷語、東部裕固語)にも保安語と同様の状況が観察されるかどうかを見ておく必要がある。観察されるかどうかに注目するため、主語が1人称あるいは2

人称の場合を見ておく。角道(2019)も参照のこと。

「生まれる」を表す自動詞については、主語の格標示を見ると、東郷語(と康家語)を除いた河湟語の間には並行した現象が認められる。「生まれる」を表す自動詞の主語がどの格で表示されるのかについて、河湟語の状況を整理して示すと、表5のようになる。

	保安語	互助土族語	民和土族語	康家語	東郷語	東部裕固語
「生まれる」 主語の格	対 (対・与位)	対・与位	対・与位	対 主	主	対

(11) 「あなたはいつ生まれましたか」

a. 土族語互助方言

tɕimə kədze:nə torosanna? (清格尔泰等編 1988:8)

あなた[対・与位格] いつ 生まれた

b. 土族語民和方言

QIMEIDU KEJIE TUER BA? (Dpal-Idan-bkra-shis, Slater et al. 1996:17)

あなた[対・与位格] いつ 生まれた

c. 康家語

tʃini ani hən teresun i? (斯欽朝克図 1999:178)

あなた[対格] どの 年に 生まれた

【**bi** enə agada teresun. 「私はこの村で生まれた」(:99) : **bi** は主格。】

d. 東郷語

tʃi ʃi jaŋ ʃidzədə olusan wo? (布和等編 1987:8)

あなた[主格] 主題 何 時に 生まれた

e. 東部裕固語

tʃəmi: dzo jimar dʌgedə ɔ:l-sən bə? (保朝魯、賈拉森編 1988:8)

あなた[対格] どんな 時に 生まれた

資料の制約がある康家語を除いた他の河湟語においても、「生まれる」を表す自動詞とそれに対応する「産む」を表す他動詞には同じ形式が用いられている。

「どうなる」を表す自動詞において、その主語の格標示に保安語と同様の状況が認められるのは表6のように、互助土族語である。東部裕固語も「どうなる」を表す疑問動詞の主語は主格では標示されないが、「生まれる」とは異なり、与位格で標示される。

	保安語	互助土族語	民和土族語	康家語	東郷語	東部裕固語
「どうなる」 主語の格	対 (対・与位)	a-1. 対・与位 a-2. 主 / 対・与位	主	主	主	与位

(12) 「どうなる」(/ 「何をする」)

a-1. 土族語互助方言

ts'imii yaaGawa. / **ts'i** yaaGani. (de Smedt et Mostaert 1933:485-486)

ts'imii yamagiwa. / **ts'i** yamagina. 【que t'a-t-on fait?/que fais-tu?】

「あなた[対・与位格]はどんな具合ですか。 / あなた[主格]は何をしますか。」

a-2. 土族語互助方言

tɕə amagəva? tolgui ɣargəna nuu? (清格尔泰等編 1988:22)

「あなた[主格]はどんな具合ですか。頭がふらふらしていますか。」

tɕəmə amagəva? (清格尔泰等編 1988:130)

「あなた[対・与格]はどんな具合ですか。」

b. 土族語民和方言

NIAODUER QI YAGE BA? (Dpal-Idan-bkra-shis, Slater et al. 1996:22)

「今日あなた[主格]はどんな具合ですか。」

c. 康家語

tʃi jaŋgi (ʃ) dʒa? **bi** vəidedʒ. (斯欽朝克図 1999:142)

「あなた[主格]はどんな具合ですか。私は病気になりました。」

tʃi magiʃdʒa? **bi** suqtuʃdʒa. (斯欽朝克図 1999:143)

「あなた[主格]はどんな具合ですか。私は酔いました。」

保安語の内部に「病気になる」などを表す自動詞主語に与位格が現れる要因を求めるなら、(13)のような構文を無関係なものとする事はできないであろう。同仁方言尢酒日では、「私は風邪をひいた」は **nada kutcim kurtc.** (私[与位格] 風邪 着いた)である。主語には与位格が用いられ、文字通りには、「私に風邪が到着した」という表現となっている。ただし、このような表現はモンゴル系言語においては異質なものである。

保安語同仁方言の近隣で話されている五屯語が自動詞主語に分裂性を示し、その分裂は保安語同仁方言よりもはるかに広範囲に観察される。Sandman (2016)の例文を見ると、tin-「病気になる」、kunman-「疲れる」、dun-「凍える」、ke-「のどが渴く」、ji-「楽しい」の主語は主格ではなく目的格であり、これらの動詞は非制御動詞として捉えられている。保安語同仁方言の与位格標示に一定の役割を果たしているのかもしれない。

「病気になる」などを表す自動詞の主語に、保安語がいつから与位格を用いるようになったのかについてははっきりしないままである。尢酒日の状況が同仁方言のより古い段階を示しているのであれば、保安下庄の状況は自動詞主語と与位格で標示する動詞の範囲を拡大させたことになる。そして、Todaeva (1964)が記した与位格と主格の交替は、その当時の保安下庄において、「病気になる」などを表す自動詞の主語が主格から与位格へ移行の過程にあったことを示しているという可能性も考えられることになる。他方で、尢酒日が自動詞主語と与位格で標示する動詞の範囲を縮小させたという可能性もある。

5. おわりに

保安語における自動詞主語の格標示について検討した。自動詞主語の格標示は確かに分裂性を示すが、その分裂は特定の動詞に限られている。積石山方言は主格と対格の二分割型と言え二分割型であり、同仁方言はさらに調査が進めば、主格と対格と与位格の三分割型であることがより明確なものとなるであろう。

「生まれる」「どうなる」を表す自動詞主語の対格は、他の河湟語にも観察されることから、河湟語の中でかなり古くから使われていたものと見てよいが、「産む」「何をする」を表す同形他動詞の主語との意味役割の違いを明確に示すためと考えられる。

他方、「病気になる」などを表す自動詞主語と与位格で標示するのは同仁方言に限られ、しかもその状況は同仁方言の下位方言間で様ではない。「病気になる」を表す自動詞主語は同仁方言のどの下位方言においても与位格で標示されるが、「疲れる」などを表す自動詞主語が与位格で標示されるのは保安下庄に限られるのかもしれない。主語と与位格で標示する自動詞には外的要因による健康の悪化を表すという共通の意味特徴があり、そこには(13)のような保安語の与位格構文、さらには近隣で話されている五屯語の格標示との関係を考える必要がある。

参考文献

- 保朝魯、賈拉森編(1988)『東部裕固語話語材料』内蒙古人民出版社
布和等編(1987)『東郷語話語材料』内蒙古人民出版社
布和 陳乃雄(1981)「同仁保安話概要」『民族語文』2、61-75.
陳乃雄等編(1987a)『保安語和蒙古語』内蒙古人民出版社
陳乃雄等編(1987b)『保安語話語材料』内蒙古人民出版社
鄭聖汝(2005)「分裂自動詞性の本性について--言語類型論の観点から見た非対格仮説とその問題点」『大阪大学大学院文学研究科紀要』45、19-58.
Dpal-Idan-bkra-shis, Kevin Slater W. et al.(1966) *Language Materials of China's Monguor Minority: Huzu Mongghul and Minhe Mangghuer, Sino-platonic papers* 69.
Fried, R.W (2010) *A Grammar of Bao'an Tu, A Mongolic Language of Northwest China*, Ph.D. Dissertation, State University of New York at Buffalo.
角道正佳(2019)「モンゴル諸語の「生まれる」を表す表現」『Contribution to the Studies of Eurasian Languages (CSEL) Series 21 ユーラシア諸言語の動態 III 一言語の多様性と類型と混成言語一』、49-73.
李克郁(1988)『土漢詞典』青海人民出版社
Mostaert, A. (1968) *Dictionnaire ordos*, Johnson Reprint Corporation, New York・London.
清格尔泰等編(1988)『土族語話語材料』内蒙古人民出版社
Sandman, E (2016) *A Grammar of Wutun*, Ph.D.dissertation, University of Helsinki.
佐藤暢治(1955)「保安語同仁方言における格標示体系の問題点」吉川守先生御退官記念論文集編集委員会編『吉川守先生御退官記念言語学論文集』115-125
佐藤暢治(2019)「保安語積石山方言の「生まれる」と「産む」を表す表現」日本言語学会 159 回大会口頭発表
斯欽朝克因(1999)『康家語研究』上海遠東出版社
de Smedt, A. et A. Mostaert (1933) *Dictionnaire Monguor-Français*, Imprimerie de l'Université Catholique.
Тодаева, Б.Х. (1964) *Baoanskij Jazyk*, Moskva.
Čeremisov, K. M. (1973) *Burjatsko-russkij slovari*, Moskva.